

■ 婦人科手術項目と入院推定期間

疾患	内容	手術方法	入院推定期間
子宮筋腫	子宮筋腫の手術は、子宮の正常な組織を残し筋腫のみを摘出する筋腫核手術と、子宮を全て摘出する子宮全摘術を行っています。手術方法は、筋腫の種類・大きさ・位置により変わってきます。当院では腹腔鏡、開腹、子宮鏡のいずれかの方法になります。	腹腔鏡	5日
		開腹	7～10日
		子宮鏡	3日
子宮腺筋症	子宮腺筋症に対する開腹による子宮腺筋症核出術を行っています。これまで主流であった子宮全摘術とは異なり、腺筋症の部位のみ切除して子宮を残すため、その後の妊娠が可能となります。この手術は埼玉県内で唯一当院にて行っています。	開腹	7～10日
卵巣嚢腫	卵巣嚢腫の手術は、腫瘍のみを摘出し正常な卵巣部分を温存する腫瘍核出術と、腫れているほうの卵巣を全摘する腫瘍摘出術を行っています。手術方法は卵巣嚢腫の種類・大きさ・位置によって変わってきます。当院では腹腔鏡・開腹のいずれかになります。	腹腔鏡	5日
		開腹	7～8日
子宮脱	子宮脱の手術は子宮を膣のほうから摘出し、膀胱・直腸周囲の緩んだ靭帯を縫い縮める子宮全摘術と、膣壁形成術を行っています。	膣式	10～12日
子宮頸部癌	子宮頸部癌の手術は、子宮頸部を膣のほうから円錐状に切除する子宮頸部円錐切除術を行います。開腹による手術は行いません。	膣式	3日
バルトリン腺嚢腫	バルトリン腺嚢腫の手術は、外陰部バルトリン腺にできた袋を切開し、出口を開けて膿がたまらないように処置します。	膣式	日帰り～2日
尖圭コンジローマ	尖圭コンジローマの手術は、病変部を電気メスで焼灼する手術方法で行われます。	膣式	日帰り～2日
子宮内膜ポリープ	子宮内膜ポリープの手術では、子宮の中にカメラを入れて、直接病変部を観察、ポリープ部分を搔扱します。	膣式	2日